

3. サステナブル社会実現に向けた取り組み

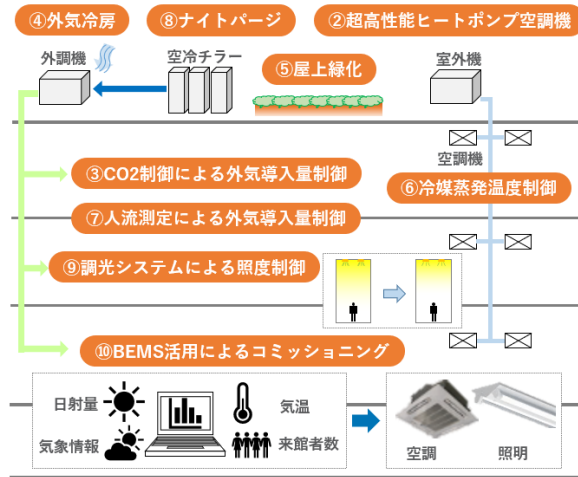
本施設では、脱炭素をはじめとしたサステナブル社会の実現に向けて、環境負荷低減の施策に積極的に取り組んでいます。

(1) 施設の省エネルギー化に向けた各種施策の実施

以下の取り組みにより、施設のより一層の省エネルギー化およびCO2排出量削減を図ります。

<主な取り組み項目>

- ① 施設の積極的な電化
- ② 超高性能ヒートポンプ空調機
- ③ CO2制御による外気導入量制御
- ④ 外気冷房
- ⑤ 屋上緑化
- ⑥ 冷媒蒸発温度制御
- ⑦ 人流測定による外気導入量制御
- ⑧ ナイトパーズ(夜間換気)
- ⑨ 調光システムによる照度制御
- ⑩ BEMS活用によるコミショニング



(2) 太陽光パネル実装によるオンサイトでのエネルギー創出(PPAサービスの活用)

太陽光パネル約400枚を建物屋上に設置し、オンサイトでのエネルギー創出に取り組めます。九州電力のPPAサービス^(※)の活用により発電した電気を施設内で利用します。



<太陽光パネル設置場所:黄色掛け部分>



(※)「Power Purchase Agreement(電力販売契約)」の略称。PPA事業者が需要家の敷地内への太陽光パネルの設置・運用・メンテナンスを行い、需要家が太陽光パネルで発電された電力を使用できるサービス

(3) 電力グリーン化(実質的な再生可能エネルギー化)の推進

再生可能エネルギーに由来する非化石証書を活用し、施設の約30%に及ぶ共用部使用電力のグリーン化^(※)を推進し、CO2排出量削減に貢献します。

(※)グリーン化とは、非化石証書等を利用して使用電力を実質的に再生可能エネルギーとすること

(4) 既存建物利用による建築時CO2排出量削減

施設の一部立体駐車場について、旧福岡市青果市場の既存建物を利用することで建替え工事ではなく改修工事とし、建築時のCO2排出量削減を実現しています。



※画像はすべてイメージです